

私立大学図書館協会2013年度第2回国際図書館協力委員会議事要録

- ・日 時 2013年7月5日(金)14:30 ~ 16:30
- ・場 所 専修大学神田キャンパス 1号館8C会議室
- ・出席者 齋藤和子(早稲田) 豊満朝子(明治) 山岸拓郎(専修)
 袁島智子(中部) 臼井文子(立命館) 金 東溟(関西)
- ・事務局 加藤 勝(関西) 濱生快彦(関西)
- ・配付資料
 - ・ 寄贈資料搬送事業の採択審査資料 (資料1~10)
 - ・ 委員会カレンダー(案) (資料11)
 - ・ 各回の委員会審議事項一覧 (資料12)
 - ・ 2013年度第2回寄贈資料搬送事業実施について (資料13~14)
 - ・ 2013年度海外集合研修の参加者募集について (資料15~17)
 - ・ 2014年度海外派遣研修の参加者募集について (資料18~20)
 - ・ 2013年度海外認定研修の参加者募集について (資料21~23)
 - ・ 基金支援企業一覧 (資料24)

・審議事項

- 1 第1回寄贈資料搬送事業の採択について (資料1~10)
5月31日に申し込みを締め切ったところ次の一件の申請があり、審査の結果、採択した。
 - ・ 国際大学 200冊 寄贈先: Centre Africain d'Etudes Supérieures en Gestion
 実施要領の要件を満たしている (セガル)

採択後の事業執行について委員長より次の説明があった。

- ・ 本委員会は設立当初から今日までカルチャー・ジャパン社より多大な支援を受けており、今後とも協力関係を維持したい。
- ・ 見積り依頼の一番手とする。
- ・ 今後は同社の得意分野であるイベント企画や海外活動の分野で、新たに協力関係を発展させたい。

- 2 今後のスケジュールについて (資料11~12)

委員長からカレンダー案に基づき提案があり、各事業の募集・採択の日程と委員会の開催日・場所が確認された。

- ・ 第3回委員会は海外集合研修応募者面接があるため、応募者の出張手配を考慮し、10月11日に開催する。会場担当校の第一位候補は立命館大学とし、参加出願者の住所地を配慮して東京(立命館東京キャンパス)または京都で委員会を開催する。第二候補は早稲田大学、第三候補は明治大学とする。
- ・ 11月1日開催予定の第4回委員会の会場担当校の第一位候補は早稲田大学、第二候補は中部大学とする。
- ・ 支障が生じた時はメールにて連絡・調整する。

3 第2回寄贈資料搬送事業の募集について (資料13~14, 資料4~5)

委員長から募集案内(案)に基づき次の説明があり、確認された。

- ・3期連続で国際大学以外に申請がない。実施要領にある費用負担額について、搬送料金の上限が10万円であるとの誤解が加盟館にあるのではないかと考えている。
- ・案内の内容は例年どおりであるが、上の誤解を解くため、案内文に次のことを書き加えた。
- ・搬送量は規定サイズのダンボール箱で30箱まで可能であること。搬送料金の他に関税や保管料が発生した場合は、搬送料金とは別に10万円までは協会が負担すること。

また上記の誤解は実施要領1頁と2頁のページ送りを調整すれば解消すると思われるので、2頁1行目の「ただし1件につき10万円を限度とする」を1頁最終行に繰り上げ、同最終行を「イ. 関税・現地保管料等(ただし1件につき10万円を限度とする)」に改めることの提案が委員長よりあった。内容的には全く変更はないので、本委員会において上のとおりにすることが了承された。

4 海外集合研修の募集について (資料15~17)

委員長から募集案内(案)に基づき次の提議があり、個々に協議を行なった。

- ・日程・場所・研修テーマの確認

日程：2013年11月25日(月)~12月2日(月)

場所：香港大学(香港)

研修テーマ：「デジタルアーカイブ運用の実際を学ぶ」

【追記】後日会長校より内容と日程についてさらに詳細に検討することの依頼があり、メール会議により委員会(臨時)を開催し検討中である。(13.7.18現在)

- ・参加資格者に図書館長などの教員を含めることについて

本研修の趣旨は事務職員の能力向上を図るものなので、応募者が募集人数を超える場合は事務職員を優先することを募集案内に記載することで了承された。

- ・参加者の住所地に応じて、関東以外に関西からも出発・到着できるようすることが了承された。

- ・案内の文言を一部修正した。

「4 旅費・宿泊費」 基金から支出します 基金から負担します

- ・レセプション・交流会で供される1名あたり500円程度のコーヒー・茶菓子の費用を協会が負担することが了承された。

- ・関西大学・内田図書館長が引率者として同行することについて

予算区分および旅費を精査し、必要性の説明書を会長校に提出することになった。

5 海外派遣研修の募集について (資料18~20)

委員長より募集案内(案)に基づき次の説明があり、了承された。

- ・調査の結果、イリノイ大学モーテンソンセンターの実施するアソシエイツプログラムが世界で唯一の、図書館員のための研修プログラムであることがわかった。したがって標記の派遣先はモーテンソンセンターとする。
- ・上のプログラムの内容を精査したところ、このプログラムは図書館事務職員を対象にしていることがわかった。したがって参加資格者に教員は含めないことにする。
- ・次年度の開催日程はまだモーテンソンセンターのホームページに掲載されていないので、開催の有無・期間を直接先方に問い合わせる。できるだけ早い時期に加盟館に案内することで、応募期間を長くし便宜を図りたい。
- ・アソシエイツプログラムの紹介文を新たに作成した。案内状とともに加盟館に送り、ホームページにも掲出したい。

6 海外認定研修の募集について (資料 21～23)

委員長より募集案内(案)に基づき次の提案があり、了承された。

- ・募集期間を大幅に延長し、申し込み締め切りを2段階にする。
 - 一次締切日 2013年10月18日(金)
 - 二次締切日 2014年 2月14日(金)
- ・一次締切日以降、応募者がプレゼンをするための場を提供できるよう努力したい。
- ・報告書はA4サイズで、本文を1000文字以上とする。

7 国際図書館協力基金への支援依頼について (資料 24)

支援依頼を次のとおり分担した。数字は資料24における企業名の通し番号を表す。

早稲田	3, 7, 22, 23
明治	12, 13, 17, 18, 21, 24, 26
専修	5, 33
中部	15, 19, 39
立命館	2, 9, 14, 25, 30
関西	4, 8, 10, 27, 34

依頼文書・基金趣意書・事業実施概要書は委員長が作成し、メールにより各委員に案を提示することになった。

・報告事項

1 国際図書館協力シンポジウムについて

委員長より、標記の日程・場所が次のとおり決まったことの報告があった。

- ・開催日：2014年11月7日(金)
- ・場所：関西大学千里山キャンパス 尚文館マルチメディアAV大教室
- ・当日は関西大学副学長より歓迎の挨拶がある

以上